

香具山親方、今場所こそ

三日目を終えて、西安、雪若丸、剣将、花形が3連勝とした。あと1勝すれば関取の座を掴めた西安が東二枚目で勝ち越して順調に新十星を積み重ねている。しかし、新十両の西勢ノ里が星が上から入替えという状況になりかねない状況。一十両の体重問題でそれだけは避けたいところだね！」とは鹿賀乃戸親方。そのためには西勢ノ里に頑張ってもらわないといけない。

この4人の親方の中で最も喜び気合が入っているのが花形の師匠の香具山親方だろう。夢力に次ぐ力士がなかなか育たず、やっとなが幕下に上がったものの一進一退で関取が見えて来ていない状況。

その豊田に次いで3人目となった新幕下の花形は、初日に菊地原の足でしびるとい相撲で勝つと真田丸、吳翔龍に勝って3連勝。香具山親方の鼻息も自ずと荒くなるのは頷けるところ。このまますべて幕下優勝の名古屋でなら、故郷の名古屋で花火も上がるのだらう。



花形○(押し倒し)●吳翔龍



雪若丸○(寄り切り)●虎影



鉄ノ里●(寄り切り)○西安

香具山親方とまではいかないが、秘かに愛弟子に期待を寄せているのが友砂親方。「錦風さん！暫はどうだろう？何とか勝たせてくれよう！」と友砂親方。普段そのようなことを言う親方ではないけれど、二日目には雪若丸に惜しくも負けてしまったが、期待される逸材であるところ。これからの相撲に注目したい。(錦風)



↑
理事長室を密かに抜け出し、棧敷席から愛弟子に声援を送る友砂親方

三段目／序の口

は敗れたが、2勝1敗でこちらも昇進のチャンスだ。

桜庭は危なげのない相撲でストレートでの勝ち越し。過去には幕下昇進まであと一步のところまで近づいたこともあったが、今場所でも育成会も10場所も卒業しそそる三段目も卒業といきたいだろう。

このところ毎場所上位に定着していた豪剣が下位に下がったが流石にこの位置では実力者が振りを取っていき、今頃はとうとう幕下で相撲を取っていてもおかしくないはず。二三日目は富士浪部屋の蛮国をのど輪から押し出し、富士の海を引き落としに破った。四日目は桜庭との対戦になるが両者ともに再び上位には返り咲きたいと四日目の取組みも楽しみだ。



雪若丸○(寄り切り)●暫

育成会は三日目までを終了し、三段目で3連勝としたのは黒田、西渡海、桜庭、豪剣の4人。黒田は磯蛸と西の富士をともに左差しから寄り切って豊田、花形に続き香具山3人目の幕下力士の誕生に大きく近づいた。香具山勢もようやく本領発揮といったところか、三国や山下もこれに続きたい。



桃武蔵●(寄り切り)○西渡海



黒田○(寄り切り)●西富士

序二段の全勝は3人。武乃花は今場所三段目から陥落となったが、揮二強敵の柴橋と木幡を退けて勝ち越しを決めた。春日根再生工場から復帰となり粘り強い取り口に変わってきたようだ。

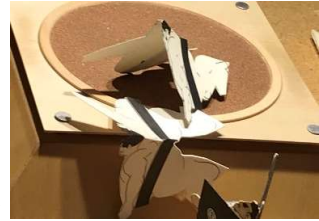
戸田も3連勝と好発進。続けて3勝2敗と勝ち越してはいたが、もう一つ白星の上乗せがほしいところ。駒富士を寄り切りを下しての三日目は優勝候補の西強との一番。序の口から大方の予想は西強に防がし、立ち合いの攻めは戸田。西強が土俵を回って再三投げを打ちも堪えながら最後は寄り切りに仕留めた。



戸田○(寄り切り)●西強



武乃花○(押し倒し)●木幡



西神門●(寄り切り)○桜庭

もう一人3連勝を決めたのは勝間田の島内。低い構えから攻める相撲が功を奏している。全勝力よって3人のため、展星を伸ばせば優勝の可能性はまだまだ残されている。

序の口は、早くも勝ちつばなしは江戸の愛とどう序の口まで陥落し後がなくなつた。しかしやはり序の口では格の違いを見せて好スタート。育成会では一番のベテランと言ってもまだ27歳。再度の復活はあるのか期待したい。

そして今場所の優勝候補に上がってきたのが郡山。郡山はその名の通り福島県の郡山市の出身。友砂親方が郡山出張の折に逸材として発掘してきたという噂だが、それは番付を上げるにつれて徐々に明らかになって行くかも知れない。勝負は姫野、洪野に全く相撲を取らせず圧倒した。四日目は江戸の愛との全勝対決となるが、体力的には動きそうにない感じが。



郡山○(寄り切り)●洪野



江戸愛○(寄り切り)●桃薩摩



綱櫻●(寄り切り)○島内



(勝間田)